



いわき探検記

2022年12月 Vol. 10
地域おこし協力隊
辻村 春香

12月1日には、里にも雪が積もりましたね。
すっかり冬になってきた、という感じます。
畑仕事も遅々として進まず、黒いマルチシートを畑に残して師走に突入…(=)；

居場所づくり

11月は干し柿づくりを実施。12月はリースづくりをします！！

9月から、五代獅子舞保存会の有志メンバーと居場所づくりを始めております。

会場（五代多目的集会所）近くの岩木小学校・津軽中学校にチラシ配布をお願いし、回覧板でも回していただいております。

11月12日は、居場所づくり団体「みんなの居場所ステップ44（しし）」の代表・鈴木さんの畑から柿を提供していただき、干し柿づくりを実施。

2家族8名の方がいらしてくれました。

写真は、りんごを手伝いに来ていた親戚の方と一緒に来たくださった家族。「干し柿づくりをしたことがない」とおっしゃって、楽しんで過ごしてくださったようです。

このときに作った干し柿は、この「いわき探検記」が回覧されることには食べごろに…。

いっぽう12月は、リースづくりのワークショップを行います。講師は、お子さんが岩木小学校にかよっているお母さん（＝私の友人）にお願いしました。

残席ありますので、「まだ間に合う？」という方は、辻村までお電話ください！（電話番号は紙面の最後に記載しています。）

1月は獅子舞保存会メンバーから、「獅子舞を教わって、踊ってみよう」と思います。

「イベントに参加する気はないけど、ちょっと人に会いたいわ」という方も、大歓迎です！！

11/27（日）生放送ラジオ「つなげよう！市民のチカラ！」に出演！

居場所づくりの活動は、「弘前市市民参画型まちづくり1%システム」の支援を受けております。その関係で、弘前市市民協働課のラジオ枠に、居場所づくりの団体の代表・鈴木さんと一緒に出演させていただきました。

放送30分前に集合、打合せして、ぶっつけ本番の生放送。団体の命名の由来や活動内容、五代獅子舞保存会との関係、今後の活動予告などをしてきました。

放送概要については、市民協働課のホームページに掲載。聞き逃した方はこちらをご覧ください。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/kihonjourei/2015-1125-1421-26.html>



お父さんもおばあちゃんも、人生初の干し柿体験だったそう。



弘前市まちなか情報センターにて、鈴木代表と。

弘前市地域おこし協力隊 活動報告会

11月20日に、弘前偕行社で実施されました。

現役隊員4名（岩木3名、ぶどう栽培1名）、今年2月以降に卒業したOGOB（東目屋地区1名、相馬地区2名、起業ミッション3組）が、それぞれの活動を報告をしました。

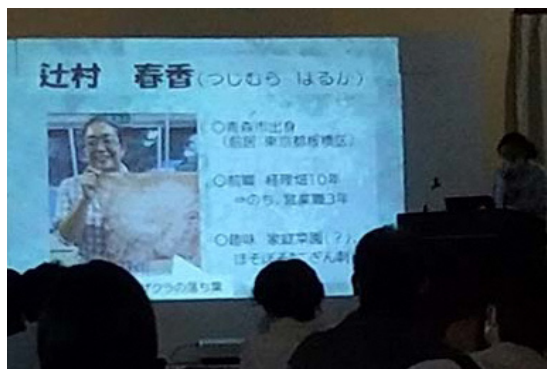
私は持ち時間オーバーで、あおられ（笑）ながら終了。時間配分は難しいですね。

私達も、普段ほかの地域おこし協力隊がどんな活動をしているか、詳しく知らないので、勉強になりました。

私たちの卒業のときには、岩木地区の方にもたくさん来ていただきたいな～、思いました。

展示ブースもあったので、私は栽培した棉花や藍、ワークショップで実験染めしたストールや実験生成した沈殿藍などを展示しました。

特に綿花は、あまり県内でも見かけないので、初めて触る人もいらっしゃいました。



暗がりで解りづらいですが、スクリーンの右側に私の影が…。緊張の報告会。

はじめての岩木文化祭！

岩木文化祭に伴い、商工会青年部のミニ四駆会場づくりや、観光協会の岩木山フォトコンテスト展示・カレンダー販売に参加しました。

あまり他のブースを覗きに行く時間がなくて残念でした。

ですが、3年ぶりの文化祭。「こんなに、にぎわってたっけ？」という声も聴こえ。

活気が戻りつつあるこの状況を喜ばしく思います。

あとは感染予防を心掛けるばかり。コロナ前の生活に戻る日を夢見て。



ミニ四駆会場設営時の会場。翌日、コース変更をして難易度アップ&コースアウト抑止も実施。

地域の方から柿をたくさんいただきました！

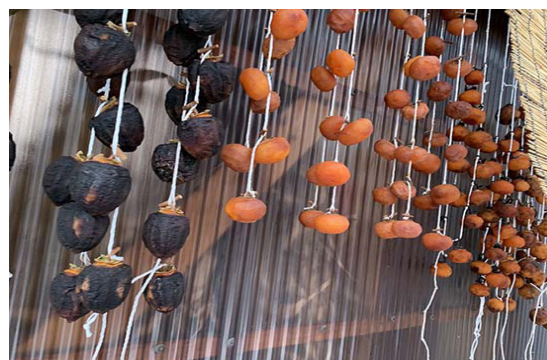
放置果樹を募集していたら、11月後半にお声がけいただき、たくさんの渋柿をいただきました。

熟した柿は柿酢づくりに、硬い柿は干し柿づくりに使わせていただきました。

それぞれ、食せる状態に変化したら、くださった方にお礼に持って行く予定です。

干し柿づくりも柿酢づくりもまだ2シーズン目。成功することを祈っております。

※昨年の柿酢は、赤かぶの甘酢漬けを作るときに使いました。梅の酢漬けを作るときにはすっかり存在を忘れていたので、ようやく冬になり、面目躍如…。



いただいた柿は、干し柿に。
熟して柔らかくなった柿は、柿酢に。

予告・麻糸産みの講座を、岩木で開講します！！

「麻糸産み後継者養成講座 初級」を、外部講師を招いて2月に実施します。

7月にこの講座を受講し、8月の藍染めのワークショップ実施をつうじ、私のこぎんに関する活動は「こぎんの素材を再び地場産に」という方向性に舵を切りました。

これまで、多くの先達のおかげで、こぎん刺しをする人口はだいぶ増えてきたと考えています。一方で、かつては家庭で作られた布は誰も作らなくなり、県外産・海外産の材料に支えられて今のこぎん刺しが成立しています。こぎん布の地場産化の可能性を探る目的も兼ねて、糸づくりについて学びます。

実施日：

2023/2/23 (木・祝) ~ 2/24 (金) 各 10:00 ~ 15:00

※ 1日集中講座なので、同じ内容で2日間実施します。

場所：

農業生産法人 ANEKKO 交流スペース 弘前市宮地川添77-4

人数：各日 6名ずつ (先着順)

受講料：13,000円/人 (昼食代を含む)

※本講座は本来22,000円/人で実施されています。今回は弘前市との共催事業としておこなうため、上記金額にての実施となります。

お申込み・お問合せ：辻村まで (Tel、Eメールは紙面の最後に記載)

弘前市ホームページもご参照ください。(この新聞配布と同時くらいに、公開予定)

畑仕舞い

個人でタネ採りすることが可能な品種については、タネ採りもおこなっているため、なかなか畑が片付かないワタクシ…。

今年はタネの交換会でいただいた浪岡在来小豆やチョロギの栽培にもチャレンジしていました。

ダイコン・ニンジンについては冬越ししてのタネ採り。70代の父から「ダイコンの冬越し・タネ取りするなら芋や豆の芋殻で養生するとよい」と言われました。父が子供のころは、当たり前前の風景だったようで。

何とか冬を乗り切って、来春・来夏にタネを付けてほしいものです。



移植のために掘り出した、田舎館村の在来種・大根子人参。奇形な株ばかり…。

畑からの恵みたち

今年、栽培にチャレンジした作物の一部をご紹介します！

タネ=可食部分となるものも多いですね。まだ味見ができていないものも多いので、来年植えるものを検討しつつ、味見に使いすぎないようにしたいと思います。(←タネが不足する…)



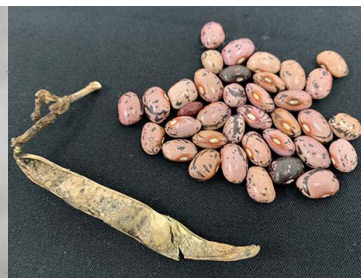
綿花 (実)

取りはずした綿毛付きのタネ (中) と、取り出したタネ (右)、分離した綿毛 (右上)。



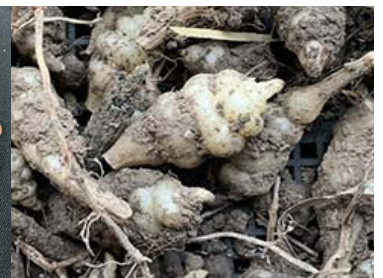
タデアイ

夏に生葉染めのワークショップをした株から採れた種です。来年も無事に育って～！！



浪岡在来小豆

タネの交換会でいただいたものを育てました。薄い色に小豆色の斑点のある豆でした。



チョロギ

こちらも、タネの交換会でいただきました。正月料理に使うか迷っています、

◆◇ 編集後記 ◇◇

師走、年の瀬。時間の経過は思いのほか早いですね。
秋から引きずっている作物の処理（大豆などの脱穀やタネの整理）は年内にケリをつけたい…。
そして、今年のクリスマス前には、昨年見かけた、駒越愛宕神社のしめ縄づくりを見学・参加させていただきませう。
地域のワザをみる貴重な機会。大事にしていきたいですね。

WANTED

空き家を探しています！

探してます！



岩木地区に農業体験等のできる拠点をつくりたいと考えております。

拠点づくりに使える空き家を探しています。

(物件への要望)

- ・ 退任後の居住を見据え、賃貸契約にて貸していただける物件。
- ・ 部屋数多め（5室以上あると嬉しい）。
- ・ リフォーム・リノベーションをしてもよい。
- ・ 車庫や倉庫があれば、なお嬉しい。
- ・ 立地：岩木地区内で、“少し足を延ばせば” 里山や畑に行ける場所。
- ・ 賃料やその他条件⇒相談させてください。

「空き家になる予定があって…」 「親せきに管理まかされているけど…」 「1 部屋だけは立入禁止にしたいけど、それ以外は使ってもらっていいんだけど…」 など。

情報があれば、まずはご一報いただき、お話しさせていただきたく思います！

梅などの放置果樹

相変わらず、放置果樹を募集しています。

柿は、ご協力くださる方がたくさん見つかりました。

ありがとうございます！

枝切りをするものもあり、“果樹の特性について勉強しなきゃ…”と。世の中、学ぶことはまだまだたくさんあるな、と思いました。

そんな私に、梅や杏など、「提供してもいいよ！」という方いらっしゃれば、お声がけくださいませ！



連絡先
岩木総合支所 総務課

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621

Mail: har-tsuji@city.hirosaki.lg.jp

もろもろ情報
お待ちしております！



「いわき探検記」の直近のバックナンバーは、市のホームページからご覧になれます。古いものは、岩木庁舎でファイルしております。ご覧になりたい方は、岩木庁舎まで。